

## 西東京ボランティア・市民活動センター 第4回運営委員会会議録<確定稿>

開催日時：2005年3月8日(火) 午後7時15分～9時  
開催場所：西東京ボランティア・市民活動センター活動室  
出席委員：阿部靖子、飯塚 睦、熊田博喜、坂口和隆、安岡厚子、山下恭子  
<以上6名、敬称略、あいうえお順>  
欠席委員：瀧島喜重  
<以上1名、敬称略、あいうえお順>  
事務局：齊藤地域福祉課長、片寄主事、今林コーディネーター、丸木

### 配布資料

資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター第3回運営委員会会議録<未定稿>  
資料 2：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告  
資料 3：2004年度コーディネート状況等月次報告表  
資料 4：西東京ボランティア・市民活動センター予定表(3月)  
資料 5：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会年間スケジュール表(訂正2版)  
資料 6：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会設置規則(改正版)  
資料 7：2005年度 西東京ボランティア・市民活動センター事業計画  
資料 8：西東京市地域福祉活動計画「和と輪でつなく西東京」  
資料 9：西東京市地域防災計画(平成15年3月)<抜粋>

委員長：それでは、第3回運営委員会を開催する。まず、事務局に資料の説明をお願いしたい。

事務局より、配布資料の説明がある。

事務局：本日の資料はお配りしたとおりだがレジュメにある資料8の西東京市地域福祉活動計画「和と輪でつなく西東京」(要約版)は、要約版ではなく完全版をお配りしている。

委員長：それでは次第にしたがって、第3回運営委員会会議録の確認をしたい。

### 1. 西東京ボランティア・市民活動センター第3回運営委員会会議録について

委員長：すでに委員の皆さんへは会議録をお配りしていると思うが、読んでいただいて気づいた点があれば発言していただきたい。

委員長：委員の方からの発言が無いようなので、1箇所訂正をしてほしい。訂正箇所は、2ページ14行目の委員長発言の「～今後その都度運営委員が関わるかどうかを決めて生きたい～」を「～いきたい～」に訂正する。

他に訂正箇所無く、異議なく上記1箇所の訂正を加えたうえで第3回運営委員会会議録<未定稿>を確定稿とした。

## 2. 報 告 事 項

### (1). 西東京ボランティア・市民活動センター業務報告について

事務局より資料2、3、4に基づき、2月の業務について説明がある。

事務局：今回から市民活動団体やNPO法人設立、運営に関する相談も件数として掲載することにした。

委員長：それでは、業務報告について質問や意見はあるか。シニア向けボランティアスクールが修了したということだが、修了者達のグループはできたのか。

事務局：修了者達の意向として、グループは作らずに同期会のような形で交流していこうということになったので、ボランティアグループはできていない。

委員長：2月18日(金)、19日(土)に行われたNPO見本市の参加者はどうだったか。

委員：18日(金)金曜日はあまり人がいなかった。

委員：展示を見たりする人は思ったより多くなかったが、このNPO見本市に参加した団体同士が知り合いになってよかったと思う。

委員長：市民にNPO法人や市民活動団体を知ってもらうということではよかったのではないか。何らかのアピールができたと思う。今後このような企画を西東京市NPO法人連絡会が行わないのであれば、センターの事業として行ってもよいのではないか。

委員：過去に行われた福祉まつりに参加したことがあるが、福祉まつりが終わり、後日、問い合わせがあったりした。思いがけないところからの問い合わせがあった。そういう意味で、このような企画は、何らかの効果はあると思う。

委員長：現在、市内には、すべての市民活動団体のパンフレットや案内がそろっているところがない。そういう意味で、このようなイベントを市民へのアピールする機会としてとらえてよいのではないか。

委員長：傾聴ボランティア講座の3期生の話し合いが行われているようだが、これはグループ化していくのか。

事務局：すでに第1期生が中心となってつくられた「ボランティアグループきずな」があるので、この3期生の集まりは親睦、交流的な意味合いでのグループをつくらうとしている。

事務局：報告になるが、3月にコーディネーター採用試験を行う予定である。

委員：3月予定表に「シチズン時計来所」とあるが、他の企業とボランティア・市民活動センターとの関係はあるのか。

事務局：過去には芝久保町にあった三共(株)、谷戸町にある住友重機械工業(株)から講座の講師依頼があり、今はFC東京からボランティアの紹介依頼がある。

委員長：企業とのつながりをもつ意味で積極的に営業活動をするよ。

委員：団体に貸し出しているロッカーについてだが、ロッカーの使用を希望する団体数とボランティア・市民活動センターで用意できているロッカー数とでは、どちらが多いのか。

事務局：保谷活動室に用意しているロッカーはすでに余裕がない状態だが、田無活動室では今のところまだロッカーの数に余裕がある。

### (2). 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会年間スケジュールについて

事務局より、資料5に基づき説明がある。

委員長：この年間スケジュールは、前回の協議を踏まえて作成されたものなので、このスケジュールで運営委員会を開催し、協議をしていくことにする。

### (3).西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会設置規則の改正について

事務局より、理事会において「西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会設置規則」の改正が行われた旨の報告がある。  
意見、質問なく「西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会設置規則の改正」の報告を終わる。

### (4).2005年度西東京ボランティア・市民活動センター事業計画について

事務局より、資料7に基づき説明がある。

- 委員：シニア向けボランティアスクールでは活動に結びついた人は何人いるのか。  
事務局：15人前後の受講者のうち約半数が登録や活動をしていただいている。  
委員長：講座修了者へのフォローアップをどうしていくのか。  
委員：施設見学や、活動者同士の交流などが必要ではないか。  
委員：今回のシニア向け講座を受けた人に、修了後の活動の体験談を、次に開催する講座で話してもらってはどうか。  
事務局：シニア向けボランティアスクールの受講者数は、当初予定した数より少なかった。  
委員：自分が所属する団体では、リタイアした人が多い。意外とチラシなどを見ていないのではないか。  
委員長：その年代の人は何を見ているのだろうか。  
委員：新聞はよく読んでいるのではないかと思う。  
委員長：企業への営業が必要ではないか。あるいは、新聞をよく読んでいるということであれば、新聞への講座の参加者募集記事の掲載が必要ではないかと思う。  
委員：朝日タウンズでは定年退職者向けの企画記事が多く掲載されている。  
委員長：たとえば、ボランティア・市民活動センターが広域的にブロックを構成しているのであれば、そういった広域的な情報を企業内のイントラネットに載せてもらえる可能性はあると思う。  
委員長：NPO・市民活動団体実務研修会の内容は、何か案があるのか。  
事務局：これからNPO法人とボランティアグループを対象に、組織運営上のようなことで困っているかなどのアンケート調査を実施して、その結果を基にテーマを絞り込んでいきたいと考えている。  
委員長：運営委員もまさにその調査の対象となる方たちばかりなので、運営委員からも情報をもらうようにしてほしい。

他に質問、意見なく、資料7のとおり2005年度事業を実施することを確認する。

## 3.西東京市地域福祉活動計画について

事務局より、資料8に基づき説明がある。

- 委員長：地域福祉活動計画の中でもボランティア・市民活動センターの位置づけが重視されているということか。  
事務局：そのとおり。  
委員長：この計画の中にもふれられているが、拠点づくりについては進んでいるのか。  
事務局：行政が中間支援組織を立ち上げるのであれば、そのときがよいタイミングではないかと考えている。  
委員長：市長が交替したので、直接、市長と話し合いをもつことも必要ではないか。  
事務局：運営委員会に市長に来ていただいて、懇談をするという方法もあるか。  
委員長：それでも良いと思う。あるいは、委員長が出向いていくということも方法の一つと思う。

社会福祉協議会の組織全体との関係もあるが・・・。市民活動センターを担う意志があるということを出していきることが必要だと思う。

委員：田無総合福祉センターに関して、以前、市長へ要望のはがきを出したことにより、その後少しその使い方が変わったということがあった。ボランティア・市民活動センターに関わる人から市へ働きかけてもらうことも必要だと思う。

委員：松本市の福祉センターに行ったことがあるが、その中にあるボランティアセンターは目だって非常に活発に活動している。

委員長：ボランティア・市民活動センターをどのようにしていきたいのかを、委員自らがイメージして、この運営委員会の中で今後議論していきたい。

運営委員会として、地域福祉活動計画も視野に入れながら事業運営をしていくことを確認する。

#### 4．災害時の対応のシステムづくりについて

事務局より、資料9に基づき説明がある。

事務局：事務局の考えとしては、当運営委員会設置規則に規定されている専門委員会を設置してこの災害時に関する取り組みを検討していただくことを提案したい。

委員長：どのような成果物を事務局は期待しているのか。

事務局：災害に備えた事前の市民への働きかけや対応とそのことをボランティア・市民活動センターの事業とすること。および災害が起きたときのボランティア・市民活動センター職員の動き。そして災害時のボランティア・市民活動センターの機能の確立などを検討していただきたいと考えている。

委員長：専門委員会の委員の構成イメージはどうか。

事務局：できることであれば検討段階から関係行政職員にも関わってもらいたいと考えている。その他防災の問題に関心をもつ市民がいるので、専門委員会の委員に加わってもらいたいと考えている。

2005年7月までに運営委員会で検討し、2006年2月までに専門委員会から運営委員会に答申を出してもらい、2006年度事業に反映させたい。

委員長：専門委員会は3名くらいで構成し、集中的に議論をし、2005年7月くらいまでにまとめないと2006年度の市の補助金申請に間に合わない。急いで作成し、それを随時見直していくという方法がよいのではないか。

委員：どのような人をイメージしているのか

事務局：過去に建築の仕事をしていた方で防災に関心をもっている方、個人で活動している方、関係行政職員を考えている。

委員長：事務局の提案どおり当運営委員会に専門委員会を設置することでよいか。

異議なく専門委員会を設置することとする。

委員長：次回の運営委員会に専門委員会委員の構成や成果物の詳細について事務局案を出してほしい。

委員：東久留米市に防災に取り組んでいるグループがあるが、そのグループができたきっかけとなった講座を開催することは西東京市においても必要ではないか。災害時の対応のためには有効な事業だと思う。リタイアした人たちの参加も見込めるのではないだろうか。

委員：神戸市ではホームヘルパーを派遣して高齢者を助けることができたと聞いている。また、救援物資の受け入れを老人ホームが行っていた。

## 5 . そ の 他

### (1). 次回運営委員会開催日程について

日時：4月12日（火）19時15分～21時

会場：西東京ボランティア・市民活動センター活動室

以上を確認する。

以上をもって、本日の西東京ボランティア・市民活動センター第4回運営委員会の協議を終了し、閉会する。